

The background of the cover is a vibrant blue sky with white, fluffy clouds. In the lower portion, the blue ocean waves are visible. Scattered throughout the scene are several green leaves of various sizes and orientations, some appearing to float or fall. Numerous translucent, iridescent bubbles are also present, reflecting the colors of the sky and sea. The overall aesthetic is clean, fresh, and nature-oriented.

# SUSTAINABILITY REPORT 2025

サステナビリティレポート

*thinkrun HD*



## CONTENTS

02 ● 当レポートの位置付け・役割 / SDGsについて

03 ● トップメッセージ

### SDGsへの取り組み

05 ● サステナビリティの取り組み全体像

06 ● 運輸安全

09 ● 労働安全衛生

10 ● 健康経営

11 ● 人権尊重 / DE&I

14 ● 社員の働きがい

15 ● 省資源

15 ● 気候変動への取り組み

17 ● リスクマネジメント

18 ● コンプライアンス

### 企業情報

19 ● 会社概要・グループ会社・役員・沿革

20 ● 海外事業・国内事業・数字で見るシンクラン

21 ● 販売物流・大型輸送・倉庫管理

22 ● ベンディング・機材サービス・  
営業事務・販売支援

#### 【編集方針】

当レポートでは、シンクラングループが社会の一員として果たすべきSDGsに対する考え方や活動を報告しています。

#### 【報告対象範囲】

シンクラングループのうち、主に株式会社シンクランホールディングス、株式会社シンクラン、株式会社 TEAMS、株式会社 ONE MISSION、株式会社 ティーアールネット、株式会社 LEADERSの活動を報告しています。

#### 【報告対象期間】

2024年度(2024年1月~2024年12月)

#### 【発行時期】

2025年3月

#### 【参考にしたガイドライン】

「GRI サステナビリティ・レポート・スタンダード」

#### 【レポートに関するお問い合わせ先】

〒920-0057 石川県金沢市桜田町1丁目1番地 株式会社シンクラン  
TEL.076-232-5111 / FAX.076-262-1555

# 世界の 飲料ビジネスを 変える!

Changing the Beverage Business Worldwide!

### 当レポートの位置付け・役割

当レポートは、シンクラングループのSDGsに関する取り組みをまとめたものです。当社グループは、企業の社会的責任を果たすためのさまざまな取り組みを展開しており、当社グループを支えてくださるステークホルダー(利害関係者)の皆様(顧客、お取引先様、および地域社会)に私たちのサステナビリティの取り組みをお伝えするため、2019年からコミュニケーションツールとして「CSRレポート」・「SDGs&ビジネスレポート」を発行してきました。昨年度からは持続可能な社会の実現に向けて、SDGsに積極的に取り組む姿勢をお伝えするため、「サステナビリティレポート」に名称を変更して発行することいたしました。2015年に国連で採択され、世界中で取り組まれているSDGsに関して、シンクラングループの重点項目と関係性の高いSDGsの目標を定めて、事業を通じた社会課題の解決に取り組んでいきます。

### SDGsについて

SDGsは、2015年に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals)のことで、社会、経済、環境といった世界的な社会課題の解決に向けた2030年時点における世界共通の目標です。2030年までに達成を目指す17の目標と169のターゲット(達成基準)から構成され、これらの目標達成のために、世界各国の政府のみならず、自治体、企業など、あらゆる組織・個人が協力して取り組むことが求められています。

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS



# TOP MESSAGE

【トップメッセージ】

サステイナブルな社会の実現を追求し、  
社会的価値・経済的価値の向上を目指す。

鶴賀 大輔

DAISUKE TSURUGA

株式会社シンクランホールディングス  
代表取締役社長 兼 COO



私たちシンクラングループの事業活動を日々、支えていただいているステークホルダーの皆さまには、平素より格別のご支援とご理解を賜り、心より御礼申し上げます。

私たちは、パーパス「世界の飲料ビジネスを変える!」のもとで、安全・安心を最優先とする高品質なオペレーションを追求し、飲料業界をもっと競争力のある仕組みに進化させ、世界の人々に幸せをお届けできる存在となることを目指しています。

今日、私たちを取り巻く経営環境は、急激に変化しています。

甚大な災害や、資源の枯渇にもつながりかねない地球規模の環境問題が日々深刻化しています。日本国内では少子高齢化による労働力不足と市場規模の縮小といった問題が、大きな話題となっています。

また私たちに求められる「安全・安心」のあり方も、大きく変わりつつあります。お客さまにお届けする商品やサービスが安全・安心であるだけでなく、その実現のためには、従業員やお取引先さまにとっても安全・安心な事業環境を提供することが不可欠です。

法令で許されない過重な労働や運行、危険な運転、職場におけるハラスメントや差別の放置などは、単に法令違反で処罰されるだけでなく、実際に企業が生み出す価値そのも

のを短期的にも中長期的にも損なうということを強く認識しなければなりません。

営利企業である以上、経済的な価値の創造を追求するのは当然ですが、社会的価値をないがしろにすれば、いずれ市場から退場を求められることにもなりかねません。

シンクラングループはサステナビリティ活動として「社会」、「環境」、「リスクマネジメント/コンプライアンス経営」を柱とした“9の経営テーマ”を掲げ、2030年に向けて実現すべき具体的な社会的価値の目標を定めています。各テーマの取り組みについて、本レポートを通じてご紹介できれば幸いです。

なお、2025年1月にお客さまと共同出資で「株式会社 onEQuest」を設立しました。同社は日本国内において全国規模で自動販売機を中心とした各種販売機器の設置・整備・再生・修理・品質管理を行っています。自販機大国の日本において、環境に配慮しながら持続可能な自販機事業の実現を目指すことは、新たな社会的価値の創造につながるものと期待しております。

社会的価値を創造するには、長期的な視点と継続的な取り組みが不可欠です。ぜひともステークホルダーの皆さまと共に、経済価値と社会的価値の創出・両立に取り組んでまいりたいと存じますので、変わらぬご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

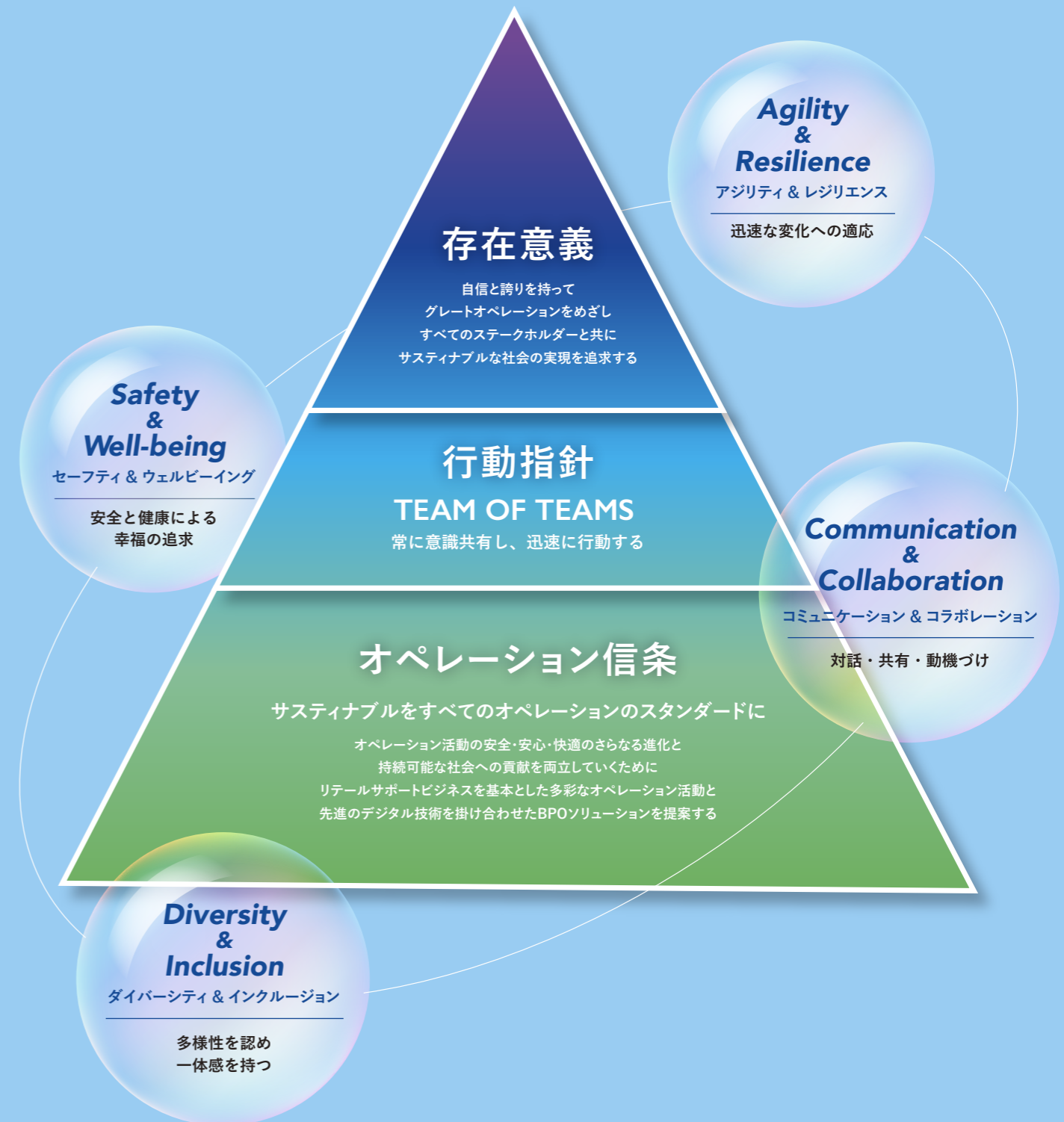
# 世界の飲料ビジネスを変える!

オペレーションエクセレンスを超えて、グレートに成長する

1 社会的価値を高める

2 デジタルを活用しオペレーションソリューションを高める

3 人的資本への投資





# SDGsへの取り組み

## シンクラングループの事業活動とSDGs

シンクラングループは、持株会社である株式会社シンクランホールディングスを中心に、各グループ会社が相互に関係性を持ち、協働してシナジー効果を発揮することで企業価値の向上を目指しています。

### シンクラングループがSDGsに取り組む理由

昨今では、持続可能な社会への取り組みが企業価値を図る指標の一つになっています。2015年に国連サミットで採択されたSDGsは、社会、経済、環境といった世界的な社会課題の解決に向けた世界共通の目標です。この目標達成のためには、世界各国の政府、自治体、個人だけではなく、企業も事業活動を通じて協力して取り組むことが求められています。

当社グループでは、SDGsの目標を意識しながら事業活動を推進していくことが、ステークホルダーの皆様のお役に立ち、ひいては社会課題の解決につながると考えています。

## サステナビリティの取り組み全体像 9の経営テーマ

当社グループは、事業を通じて社会的課題の解決を図り、持続的な成長を目指しています。活動にあたっては、事業内容や現状の課題等に基づき、社会的責任を定義付けした上で、「9の経営テーマ」を設定して取り組みを行っています。  
そして、各活動と親和性の高いSDGsを特定し取り組みを進めています。

### 社会 SOCIETY



- 01 運輸安全
- 02 労働安全衛生
- 03 健康経営
- 04 人権尊重/DE&I
- 05 社員の働きがい

### 環境 ENVIRONMENT



- 06 省資源
- 07 気候変動への取り組み

### リスクマネジメント / コンプライアンス経営

RISK & COMPLIANCE MANAGEMENT



- 08 リスクマネジメント
- 09 コンプライアンス

Transport safety

## 運輸安全



# 01

私たちは、「安全はすべてに最優先する」をスローガンに、交通事故防止活動を推進します。トラックによる輸送を行う事業活動が、地球環境・地域社会に与える影響を正しく認識した上で、安全マネジメントを構築し、かつ継続的に改善することにより、交通事故防止を図ります。これらを推進するため、交通事故防止の目的・目標を設定し、定期的に見直すことにより、全従業員で交通事故防止に取り組めます。

指標(何を)	目標値(どのくらい)	期限(いつまでに)
重大交通事故件数	0 ゼロ	2025年
交通事故件数	0 ゼロ	2025年

## 安全運転の推進

### シンクラングループの安全推進に特化するグループ会社“ONE MISSION”

シンクラングループでは“安全はすべてに最優先”して日々活動しており、安全推進に専門特化するグループ会社“株式会社ONE MISSION”を2022年に立ち上げました。ONE MISSION社では「シンクラングループで事故によって不幸になる人をゼロにする!!」という考えのもと、世界一の安全運転企業を目指して、シンクラングループの安全運転の推進に取り組むとともに、交通安全に対して自発的に考えて行動する社員を育成しています。



### デジタコデータの分析・配信

交通安全、環境、車両の効率・資産管理等のレベルアップを図るべく、ドライブレコーダー機能付デジタルタコグラフ(以下、高機能デジタコ)を全ての車両に搭載しています。毎月、ドライバー毎にデジタコデータを分析・配信することにより、ドライバーに応じた安全運転の指導や、運転技術の向上に役立てており、2024年のドライバーのデジタコ評価は、前年から大きく改善しています。





## 無事故・無違反者の表彰

シンクラングループでは1,300人を超えるドライバーの安全運転へのモチベーションを高め、交通事故の撲滅につなげるべく、無事故無違反ドライバーを表彰する制度を設け、年1回表彰しています。2023年には、15年間無事故無違反の優秀ドライバーが10名、10年間の無事故無違反者が73名、5年間・1年間の無事故無違反者がそれぞれ122名、648名おり、優秀ドライバーとして表彰・賞賛し、労をねぎらいました。特に15年間無事故・無違反者10名については、聖光寺にて表彰式とワークショップを開催し、日々の安全の取り組み・活動について情報共有・意見交換を行い、参加者全員が「安全」の大切さを再確認しました。



### 表彰対象

- ◆ 10年間 無事故・無違反ドライバー
- ◆ 5年間 無事故・無違反ドライバー
- ◆ 1年間 無事故ドライバー
- ◆ 1年間 無事故拠点 運行管理者



## TOPICS

### 蓼科山 聖光寺

～シンクラングループの安全の象徴～

シンクラングループでは“安全はすべてに最優先”して活動しており、安全の象徴として長野県蓼科山聖光寺をお借りして、年間を通じて行事を行っています。

### 2024年の 聖光寺での安全行事

- 1月 交通安全祈願
- 4月 新入社員の安全研修
- 6月 無事故無違反者表彰式・安全祈願



## 安全運転技術・オペレーション品質の向上

### 全日本トラック協会主催

### 第56回 全国トラックドライバー・コンテストへの参加



### 2024年コンテスト結果

- ◆ 香川県大会女性部門 優勝 …… 本田 亜紀子さん(四国支店)
- ◆ 宮崎県大会女性部門 特別賞 …… 福山 美和子さん(南九州支店)
- ◆ 宮崎県大会4トン部門 2位 …… 當瀬 貴之さん(南九州支店)
- ◆ 大分県大会4トン部門 3位 …… 園田 数馬さん(北九州支店)

全日本トラック協会が、安全意識の高揚と交通事故防止活動を推進することを目的として、2024年10月に“第56回全国トラックドライバー・コンテスト”を開催し、事業用トラックドライバーたちが高度な運転技術と専門的な知識を競い合いました。シンクランからはドライバー14名が都道府県大会に参加し、香川県大会女性部門で優勝した本田亜紀子さん、宮崎県大会女性部門で特別賞を受賞した福山美和子さんが全国大会への出場を果たしました。



### コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社主催

### 物流協力会社 改善活動コンテストへの参加

顧客であるコカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社が、物流協力会社との強固な推進体制を構築することを目的として、“2024年度 物流協力会社 改善活動評価”を実施しました。シンクランは2024年に67件の改善提案を行い、生産性向上やコスト低減、環境改善等の効果が認められ、数十社の物流協力会社の中で、3年連続でNo.1の評価をいただきました。今後も、顧客との最適なパートナーシップの確立を目指して、オペレーション品質向上や改善活動に努めてまいります。

### コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社主催

### フォークリフト選手権への参加

顧客であるコカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社と物流協力会社が“第7回CCBJIフォークリフト選手権2024”を共同開催しました。当選手権は、安全のキーマンとなるフォークリフトオペレーターを対象としており、人の知識・技術に磨きをかけ、品格ある「最強のプロ集団」へ躍進することを目的としています。予選会を勝ち上がった28名の選手が、フォークリフト作業の実技と、顧客の安全品質規準の試験で競い合い、シンクランから出場した4名のうち藤原 加奈さんが優勝しました。今後も、シンクランは安全を最優先し高品質のオペレーションで、顧客に貢献します。



◆ 全国優勝 …… 藤原 加奈さん (打田営業所)

### 大分県警察本部 優秀安全運転事業所表彰

シンクランの大分エリアの3拠点(大分中央RS・中津RS・日田RS)が、大分県警察本部の自動車交通安全センターによる“令和6年度第一期 優秀安全運転事業所表彰”において、最高賞である「プラチナ賞」を受賞しました。当該3拠点は、令和4年に銀賞、令和5年に金賞を受賞しており、従業員による日々の安全啓発や車両美化活動を通じて、無事故・無違反を継続してきたことが、このたびの栄誉あるプラチナ賞の受賞に繋がりました。



## 安全運転教育の実施

### 初任運転者教育・選任運転者登録前研修の実施

法令に基づき、新入社員研修にてトラックの特性等について教育しています。また新入社員が独り立ちする前に、現場管理者による20時間以上の同乗指導教育を実施しています。

### 警察署と協働で交通安全教室を開催

地域社会への交通事故防止に貢献する取り組みの一環として、毎年警察署と協働で、安全教室を開催しています。2024年は、10月に石川県の保育園にて交通安全教室を実施し、園児約120名が参加しました。当教室では、安全な横断歩道の渡り方の練習や、EVトラックの運転席から見た運転手の死角の体感など、多くのことを学んでいただきました。今後も、シンクラングループは地域社会の安全に寄与する活動を継続してまいります。





Occupational health and safety

# 労働安全衛生



# 02

私たちは、「従業員の安全は経営の基盤である」という認識のもと、職場における従業員の安全を確保し、健全で活気ある職場環境づくりを推進します。安全においては、「不安全行動の排除」・「不安全状態の除去」という2つの視点から取り組みます。

指標(何を)	目標値(どのくらい)	期限(いつまでに)
テールゲート・台車事故、フォークリフト事故、高所転落事故	0 ゼロ	2025年
熱中症発症者	0 ゼロ	2025年

## 労働災害発生抑止

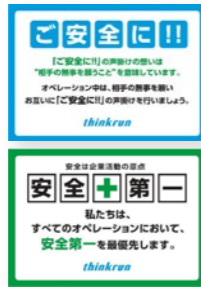
### 安全品質会議の開催

安全衛生管理活動を円滑に推進・強化することを目的として、全国の支店責任者も参加する安全衛生会議を毎月開催しています。会議では、従業員の安全と健康を維持・向上するための現状の問題点と対策を議論・検討し、バックチェック・アウトプットで進捗状況を顕在化し、実行できる運営体制としています。各職場では職場ミーティングにて職場の安全をテーマに、年間の活動や強化すべき取り組み内容の周知と徹底を図っており、職場で解決できないことは社員会を通じて経営トップにまで上げ対応する仕組みを構築しています。



### 社内では「ご安全に!!」の声掛けを徹底

従業員の安全に対する意識を向上すべく、社内でのあいさつ時の声掛けを「ご安全に!!」とし、安全第一の組織風土の構築・浸透を図っています。また朝礼等で安全唱和を繰り返し実施することにより、安全意識の浸透・動機づけを継続しています。



### 重大事故防止への安全マニュアル刷新・教育実施

テールゲート・台車事故、フォークリフト事故、高所からの転落事故の3大重大事故を防止すべく、社内教育を徹底するとともに、同建屋内の顧客・サプライヤーと協働で、安全対策を検討し、あるべき基本行動・安全作業の啓発に向けた講習会を行っています。

### 職場の安全自主点検の実施

安全な職場環境づくりと安全意識を高めることを目的に、繁忙期前の4・5月と繁忙期終了後の9月に職場の安全自主点検を行っています。

**点検対象** テールゲート車両、台車、保護具、サイト内交通路、フォークリフト等



Health management

# 健康経営



# 03

私たちは、「従業員の健康は経営の基盤である」という認識のもと、職場における従業員の健康を確保し、健全で活気ある職場環境づくりを推進します。健康管理は体だけではなく、心も含めた健康の保持・増進に努めます。

指標(何を)	目標値(どのくらい)	期限(いつまでに)
健康診断受診率	100%	2026年3月
二次検診/健康指導受診率	100%	2026年3月
ストレスチェック受診率	100%	2025年
過重労働者発生率	0%	2025年
喫煙率	30%以下	2025年

### 健康診断の実施、二次検診受診の指導

対象の従業員に健康診断を年1回実施しており、二次検診が必要な従業員には受診の指導を行っています。健康管理システムを活用することにより、従業員の健康データを一元管理し、従業員の健診結果を正しく把握し、特定保健指導や再受診の提案につなげています。また、2024年9月よりシンクラングループの統括産業医を配置しており、必要に応じて統括産業医・法定産業医による面談や指導を実施し、個人に即した健康管理を目指した取り組みを強化しています。今後もさらなる従業員の健康維持・向上に努めます。



### 従業員に向けたヘルスケア情報の発信

従業員の健康意識の醸成と、健康の維持・向上をサポートする目的で、ヘルスケアに関する情報を週1回、社内WEBツールで発信するとともに、定期的に発行する社内情報誌「T-Magazine」でも発信しています。食や睡眠等の生活をテーマとしたアドバイスや、季節・気候に応じた健康法等を紹介することにより、従業員の健康増進に努めています。



### 従業員への熱中症対策品の配布

夏場の営業活動・オペレーションは熱中症のリスクが伴うため、夏場を迎える前に、全従業員に熱中症対策品として塩分補給品や冷感商品等を配付しています。





Human rights / Diversity & Inclusion

# 人権尊重/DE&I



# 04

私たちは、「世界の飲料ビジネスを変える!」というパーパスのもと、すべてのステークホルダーの人権を尊重するとともに、従業員一人ひとりが互いの個性を受け入れ尊重する風土づくり・環境整備を目指します。

指標(何を)	目標値(どのくらい)	期限(いつまでに)
女性管理職比率	20%	2030年
従業員における女性比率	30%	2030年
障がい者雇用率	法定雇用率以上	2025年
人権研修受講率	100%(管理者)	2025年

## ダイバーシティの推進

### 多様な人材を積極的に採用

多様な人材獲得の一環として、トラックドライバー・倉庫管理者として活躍する女性従業員の様子を、動画にて自社ホームページで配信しており、仕事におけるやりがいや1日の業務内容を紹介しています。



### 社内トレーニングの女性ファシリテーター養成

次世代リーダーの育成の一環として実施している社内研修“TEAM OF TEAMS グローバル研修”において、女性社員2名がファシリテーターとして参画しています。研修専任部門ではない部門の社員をファシリテーターとして起用するのは、シンクラングループとして初の試みです。また当研修のサポートメンバーも全て女性社員で構成しており、女性活躍を推進する上でも大きく前進する取り組みです。



## 次世代の女性リーダーの育成

将来の幹部候補として女性社員2名を選抜し、経営や組織等に関する知識習得・実践スキル向上を目的として、2022年10月～2024年9月までの2年間、ビジネススクールへ派遣しました。また女性社員1名がビジネススクール主催の研修を受講し、専門性の高い講義や、他社から派遣された受講者とのグループディスカッションを通じて、“自分らしいリーダーシップ”を導き出しました。知識の習得や自己研究等を通じて、将来のシンクランの成長をけん引する次世代リーダーを育成しています。



## 女性活躍推進イベント“thinkrun Group Women's Day 2024”の開催

シンクラングループでは、性別に関係なく、どのようなライフステージにおいても常に活躍できる職場環境づくりを進めています。2024年は女性活躍推進に向けた取り組み強化の一環として、女性活躍推進イベント“thinkrun Group Women's Day 2024”を開催し、全国の女性従業員 約50名と経営層・組織長が参集しました。当イベントでは、国内・海外でのDE&Iの取り

組み・現状を学ぶセッションや、女性によるグループディスカッションと発表(テーマ:シンクラングループが女性活躍を進めていく上で、何が出来るのか)のセッションがあり、参加者全員がそれぞれの立場・役割に応じて、女性活躍推進を自分事化する機会となりました。



## TOPICS

### 参加者インタビュー



株式会社 LEADERS  
柳川 裕美 さん

今回のイベントに参加したことで、「なぜ会社の成長に女性活躍が重要なのか」を考える機会が増えました。さらに理解を深めるためにも、ダイバーシティ推進について知識を深めたいと思います。また、今後は活躍されている女性の方々にヒアリングをしながら、自分ができることを考え実施していきたいと思っています。



北海道支店 函館営業所  
林 るみ子 さん

イベントの中で、「アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)」についての話があり、女性自身が“私にはできない”等の思い込みから抜け出すことが重要だと気づきがありました。無理と決めつけず、何事もチャレンジすることが大事であると再認識しました。今後は、「働きやすい環境づくり」や「キャリアプラン」の話し合いの場など、みんなで一緒に検討していきたいと思っています。



## 障がい者雇用

障がい者の雇用を重要な社会的責務と認識し、障がい者の就労の場を提供しています。2024年末現在で、障がい者雇用率は2.5%となっています。



## TOPICS

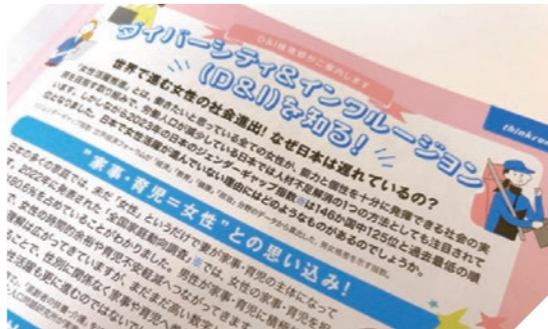


### 支援機構理事長奨励賞を受賞

障がいのある方の職業や仕事、障がい者雇用に関する取り組みの理解促進を目的とし、毎年、独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構が「障がい者雇用支援月間ポスター原画コンテスト」を開催しています。2024年はシンクラングループ従業員の山口祐典さんが、全国多数の応募の中から「独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長奨励賞」を受賞し、山口さんは4年連続の受賞となりました。

## ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン 社内浸透に向けた情報発信

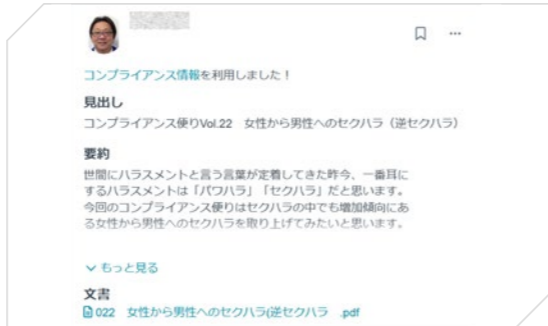
全従業員に向けて、社内情報誌“T-Magazine”や社内WEBツールを通じて、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン(DE&I)に関する一般知識やグローバルレベルでの動向について、定期的に情報を発信することにより、社内におけるDE&Iに対する認知度・理解度・関心度の向上に努めています。



## 人権意識の啓発

### ハラスメント防止に向けた取り組み

パワーハラスメント、セクシャルハラスメントの定義や、ハラスメントがもたらす悪影響、ハラスメントを防ぐための行動等を学ぶことを目的として、社内WEBツールを活用したハラスメント関連情報の発信や、ハラスメント防止の啓発ポスターの掲示を行っています。



Employee job satisfaction

## 社員の働きがい



05

私たちは、「世界の飲料ビジネスを変える!」というパーパスのもと、人材育成・活用の促進と安全・安心な職場環境づくりを行うことで、従業員が生き生きと働き、誇りを感じる会社を目指します。

指標(何を)	目標値(どのくらい)	期限(いつまでに)
時間外労働時間	対前年マイナス	2025年
有給休暇取得率	対前年プラス	2025年
研修受講率(全従業員)	100%	2025年

## ワークライフバランスの推進

### 時間管理の推進

労働時間の適正化を目指し、時間管理を徹底しています。時間管理担当部門が、定期的に事業所管理者に個人別時間進捗データやシステムからのアラートを配信し、事業所や従業員に応じた細やかな指導を行うことにより、労働時間の平準化と時間創出へつなげています。今後も業務品質向上と生産性向上を両立するタイムマネジメント施策を実行していきます。



## 人材の教育・開発

### シンクラングループの人材教育・開発に特化するグループ会社“LEADERS”

シンクラングループでは、パーパスに“人的資本への投資”を重要戦略と掲げており、人材開発に特化するグループ会社“株式会社LEADERS”を2024年4月に新設しました。LEADERS社では、オペレーション品質向上と次世代リーダー育成を重点テーマに掲げ、階層や職歴等に応じた教育・研修を行っており、2024年はシンクラングループ従業員延べ1,783名が受講しました。今後は、デジタルツールの活用や社外専門家とのコラボレーションにより、シンクラングループが目指す“世界の飲料ビジネスを変える”を実現できる人材を開発していきます。





Resource saving

# 省資源



# 06

私たちは、「世界の飲料ビジネスを変える!」というパーパスのもと、地球環境保全、地域環境推進活動に積極的に取り組み、持続可能な社会の発展に貢献します。

指標(何を)	目標値(どのくらい)	期限(いつまでに)
発行請求書の電子化率	全体の <b>87%</b> (2024年:85.1%)	2025年
受取請求書の電子化率	全体の <b>35%</b> (2024年:27.7%)	2025年

## ペーパーレスの推進

総務・人事関係の業務を中心にペーパーレス化を進めています。総務関係では、インターネットFAXの導入・拡大を推進しており、紙・インク・電気の使用を削減するだけでなく、インターネット回線を使用することから、いつでもどこでも受発信できるため、業務の効率化にも寄与します。また、電子決裁システムの刷新に伴い、社内の各種申請手続きの電子化を拡大していきます。

人事関係では、人事管理システムの導入により、従業員の給与明細や年末調整等の提出書類はすべて電子化しています。その他にも、社内の研修・主要会議等ではハンドアウトの資料を使用しないことを徹底するなどしてペーパーレスの推進に取り組んでいます。

2025年は昨年完全義務化された電子帳簿保存法での請求書の電子化について、発行・受け取りともにお取引先様との協議を進め、一層のペーパーレス化に取り組めます。



Climate action

# 気候変動への取り組み



# 07

私たちは、「世界の飲料ビジネスを変える!」というパーパスのもと、地球環境保全、地域環境推進活動に積極的に取り組み、持続可能な社会の発展に貢献します。

指標(何を)	目標値(どのくらい)	期限(いつまでに)
CO <sub>2</sub> 排出量	<b>30%削減</b> (対2015年)	2030年

## トップランナー基準車の導入による燃費の向上

省エネ法に基づく燃費基準(トップランナー基準)を充たした車両を積極的に導入しており、2024年末現在で1,328台のトップランナー基準車を保有しています。燃費向上による使用燃料の削減を図ることで、温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)の排出量を削減してまいります。

- ◆ 車両台数(1.1トン以上) … 1,342台
- ◆ トップランナー基準車 …… 1,328台(98.9%) ※2024年12月末現在



## EVトラックの導入によるCO<sub>2</sub>排出量の削減

2023年9月より北陸支店にてEVトラックが稼働しています。CO<sub>2</sub>や汚染物質を排出しないEVトラックの導入により、ゼロエミッション輸送の実現、騒音問題の解決などグリーン物流を具現化することで、地球環境保全に貢献することを目指しています。加えて、EVトラックは低振動であるためドライバーの負担軽減も期待できます。



## エコドライブの推進による燃費の向上

すべての車両に高性能デジタコを搭載し、ドライバーの運転データを分析することにより、安全運転の指導を徹底するとともに、エコドライブの指導に活用しています。エコドライブを推進することにより、燃費を向上させ使用燃料の削減を図り、温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)の排出量削減につなげています。



## 混載配送事業の拡大による配送の効率化

複数のメーカーの製品を同一車両で小売店へ配送する混載配送事業の拡大に取り組んでおり、2024年末時点で13都道府県にて実施しています。今後も複数メーカー製品の混載配送による配送効率の向上を推進することで、温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)の排出量の削減を目指してまいります。



## 二室式二温度管理車両による配送効率化

常温商品とチルド商品など、異なる温度帯で管理・配送が必要な商品を、間仕切りによって1台の配送車で運ぶことのできる「二室式二温度管理車両」を保有・展開し、配送効率化を図っています。二室式二温度管理車両の活用により、温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)の排出量の削減を目指してまいります。





Risk management

# リスクマネジメント



# 08

私たちは、一人ひとりが様々なリスクに対して意識をもち、日頃からリスク予防・対応活動を着実に実行することにより、リスクの顕在化を防ぎ、発生してもスピードをモットーに損害を最小化し、顧客や地域社会から信頼される会社を目指します。

## ERM(全社的リスク管理体制)の推進



### ERMの実施

シンクラングループでは、経営の健全性確保と企業価値の向上を目的に、企業を取り巻く各種リスクを全社的視点で管理するERMの推進に取り組んでいます。ERM実施体制としては、社長をリスク管理の最高責任者(CRO)とし、リスク管理委員会にて全社のリスク管理計画を策定し、運用状況を確認しています。車両運行管理・安全運転やオペレーション品質等について、全社の各部門が主体的にリスク対策を実行しています。

## リスク発生時の迅速な対応に向けて



### BCP(事業継続計画)の整備

シンクラングループでは、自然災害等の緊急事態に遭遇した場合に、損害を最小限に留めて事業を継続すべく、BCP(事業継続計画)を整備し、常に新しいリスクを想定して更新しています。今後は、拠点の責任者を含む管理者を対象に、リスク管理研修を行う等、緊急事態が発生した場合に迅速に対処・対応できるよう指導していきます。



## 情報セキュリティの取り組み



### 情報セキュリティ基本方針

適切な情報管理を行うため、すべての情報資産に対する機密性、完全性、可用性の維持・向上に努め、お取引先様を含む社会全体からの信用・信頼に応えられるよう、「情報セキュリティ基本方針」および「情報セキュリティ管理規程」を整備しています。

### 従業員の情報リテラシー向上

社内WEBツールを活用して、情報システムに関する案内を発信し、従業員の情報リテラシーの向上を図っています。最近のサイバー攻撃に関する手口や対応の注意点、アプリケーションソフトのアップデート情報の案内など、必要に応じて発信しています。

Compliance

# コンプライアンス



# 09

私たちは、コンプライアンスを事業活動の要諦と位置づけ、あらゆる法令と企業倫理を遵守し、社会的責任の観点から良識・誠実さをもって行動します。また、コンプライアンスを推進するための仕組み・体制づくりをより強化します。

## コンプライアンス意識の醸成

### コンプライアンス研修の実施

従業員のコンプライアンス意識を高めることを目的に、コンプライアンス研修を実施しています。外部講師(弁護士)と社内法務担当から所属長に対して研修を行った後、研修を受けた所属長が自部門のメンバーに対して教育する方法でコンプライアンス研修を行っています。全従業員がコンプライアンスの知識を持ち、正しい行動がとれるようになることを目指しています。

### コンプライアンスに関する情報の発信

従業員のコンプライアンス意識の向上と社内浸透を図るべく、ハラスメント、人権、ダイバーシティなどに関するテーマを設定し、その内容を解説した「コンプライアンス便り」や「コンプライアンスポスター」を社内に発信・掲示しています。



## 社内自浄作用の向上

### 内部通報制度(企業倫理ホットライン)の運用

業務上の法令・社内規程違反の未然防止と早期発見による是正を図るため、内部通報制度(企業倫理ホットライン)を設け、窓口を社内の担当部門と社外の顧問弁護士事務所の2箇所に設置しています。

## 業務の合法性・合理性の確保

### 内部監査の実施

拠点の監査においては、法令および社内規程等の諸基準への準拠性、管理の妥当性・有効性の検証等を行い、公正な立場で経営諸活動を評価し、助言・勧告・支援を実施しています。2024年は、33拠点39事業所を対象に監査を実施し、業務品質の向上につなげました。また本社部門の監査においては、外部監査機関に依頼し、健全な運営を進めるための見直しを図りました。





## 会社概要

Company profile

名称	株式会社シンクランホールディングス	株式会社シンクラン
設立	2016年3月18日	1971年10月28日
決算期	12月	12月
資本金	1,000万円	1億円
代表者	代表取締役会長 兼 CEO 鶴賀 裕行 代表取締役社長 兼 COO 鶴賀 大輔	代表取締役社長 鶴賀 大輔
本社所在地	石川県金沢市桜田町1丁目1番地	石川県金沢市桜田町1丁目1番地
主な事業	グループにかかわる事業方針・戦略の立案 および推進ならびにグループの業績管理	貨物自動車運送事業

## グループ会社

Group companies

株式会社 TEAMS	国内・海外における自動販売機事業／拡大支援等のグローバル事業
株式会社 ONE MISSION	安全運転推進支援事業
株式会社 ティーアールネット	グループ内シェアードサービス事業
株式会社 LEADERS	人材開発に関するコンサルティングおよび教育支援事業
さわやかリテールサポート株式会社	北陸エリアを中心とした清涼飲料水販売オペレーション事業
株式会社 ケーエルシー	ロジスティクスコンサルティング事業
BEVPRO ASIA Co., Ltd.	タイでの清涼飲料水の販売機器メンテナンス事業
株式会社 onEQuest	国内での清涼飲料水の販売機器メンテナンス事業

## 沿革

History

1971年(昭和46年)	北陸サービス株式会社設立
1974年(昭和49年)	北陸コカ・コーラ ボトリング株式会社と取引開始
1984年(昭和59年)	北陸サービス株式会社より分社、アトム運輸株式会社設立
1985年(昭和60年)	国内各コカ・コーラ ボトラー社と取引開始
2008年(平成20年)	F&N Coca-Cola(シンガポール)と取引開始 以降、海外事業拡大
2015年(平成27年)	アトム運輸株式会社から株式会社シンクランへ社名変更
2016年(平成28年)	LOGISTICS ASIA 社と共同出資で『BEVPRO ASIA Co., Ltd.』を設立
2017年(平成29年)	CQ ベンチャーズ株式会社と共同出資で『株式会社 TEAMS』設立(2019年に100%子会社化)
2019年(平成31年)	人材派遣事業会社『株式会社 ONE MISSION』設立
2021年(令和3年)	『株式会社シンクランホールディングス』を稼働し、持株会社体制に移行。創業50周年を迎える
2022年(令和4年)	人材派遣事業会社『株式会社 ONE MISSION』を株式会社シンクランに吸収合併し、新たに安全運転推進支援事業会社『株式会社 ONE MISSION』を新設
2024年(令和6年)	人材開発関連の事業会社『株式会社 LEADERS』設立
2025年(令和7年)	コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社と共同出資で『株式会社 onEQuest』設立



## 役員

※2025年4月1日時点

Board members

### 株式会社シンクランホールディングス

代表取締役会長 兼 CEO 鶴賀 裕行  
代表取締役社長 兼 COO 鶴賀 大輔  
取締役副社長 兼 CFO 貞許 健治  
取締役 兼 CGO 新井 琢也  
取締役(非常勤) 石橋 達成  
監査役(非常勤) 鶴賀 紗世

### 株式会社シンクラン

代表取締役社長 鶴賀 大輔  
取締役 井上 充洋  
監査役 鶴賀 美佐子

### 株式会社 TEAMS

代表取締役社長 鶴賀 裕行  
取締役 鶴賀 大輔  
取締役 小島 竜也  
監査役(非常勤) 井上 充洋

### 株式会社 ONE MISSION

代表取締役社長 鶴賀 裕行  
取締役 鶴賀 大輔  
監査役(非常勤) 井上 充洋

### 株式会社 ティーアールネット

代表取締役社長 井上 充洋  
取締役 鶴賀 大輔  
取締役 鶴賀 裕行  
取締役(非常勤) 北 恵子  
監査役(非常勤) 田中 由利

### 株式会社 LEADERS

代表取締役社長 鶴賀 裕行  
取締役 鶴賀 大輔  
取締役 鶴賀 真由美  
監査役(非常勤) 井上 充洋

### 株式会社 onEQuest

代表取締役社長 兼 CEO 鶴賀 大輔  
代表取締役副社長(非常勤) ビョン・イウォル・ウルグネス  
取締役 貞許 健治  
取締役(非常勤) 吉岡 浩  
取締役 石田 貴英  
監査役(非常勤) 井上 充洋  
監査役(非常勤) 町田 愛

## 海外事業

Overseas business

国内で培ってきた知識と技術を活かし、アジアを中心に、顧客のニーズに合わせたサービスを提供しています。販売機器の調達・メンテナンス・設置・オペレーション設計、人材育成、さらには販売支援に及びます。また戦略的BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)として、現地の顧客と共同で飲料業界のサプライチェーン全体を競争力のある仕組みへと変革しています。



### 海外における自動販売機事業拡大支援等のグローバル事業

グローバルの飲料市場での顧客の成長支援を目指し、飲料自動販売機の販売・メンテナンス事業からスタートし、現在は自動販売機ビジネスにおけるコンサルティング・導入・運用までトータルサポートを行っています。

### タイでの清涼飲料水の販売機器メンテナンス事業

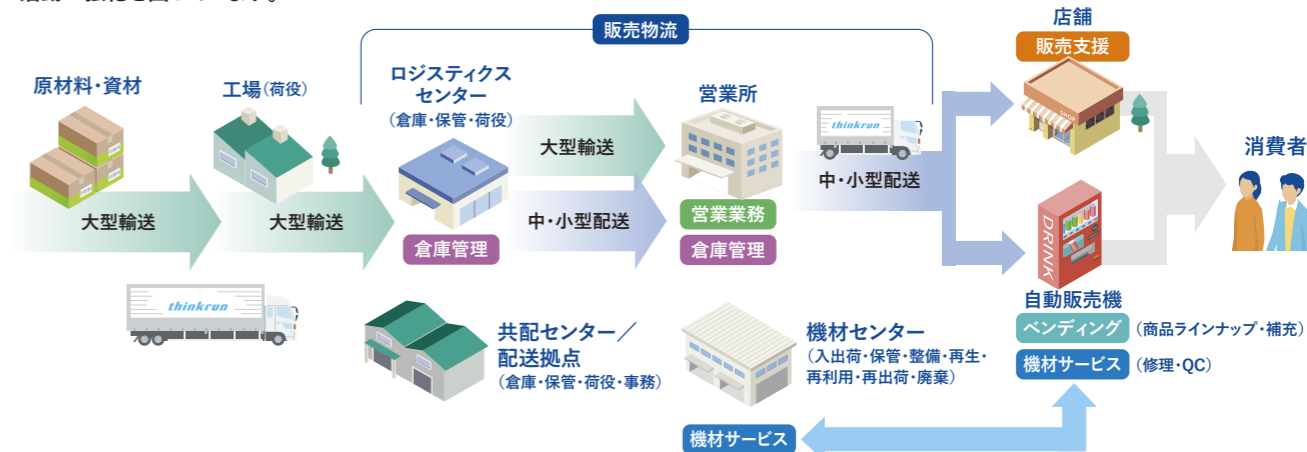
2016年2月、タイでの販売機器メンテナンスとフィールドサービスの展開・拡大を目的として、シンクランと現地タイのコカ・コーラ ボトラー社であるThaiNamthip のグループ会社と共同出資により、合弁企業「BEVPRO ASIA Co., Ltd.」を設立しました。現在は業務用冷蔵機器や暖房機器まで、幅広くメンテナンスを行っています。3ヶ所のメンテナンス工場の他、タイ全土78都県の内63県とバンコク都で12のサービス拠点を構え、訪問修理及び保守点検業務を353名体制で行っています。

## 国内事業

Domestic business

お取引先様の製造工場からお客様に商品をお届けするまでの様々な物流機能におけるオペレーションを通じて、最適なサプライチェーンの構築に貢献します。原材料・資材の輸送から店舗での販売支援に至るまでの一貫した業務領域での高品質のサービス提供により、お取引先様の様々な物流ニーズにお応えいたします。

また、2025年より清涼飲料水の販売機器を扱う事業を開始し、国内飲料業界全体の効率化を促進することで、環境負荷軽減に向けた事業活動の強化を図っています。



## 数字で見るシンクラン

At a glance



エリアカバー率(国内)

1都 1道  
2府 39県 **91%**



拠点数(国内)

**151** 拠点



従業員(グループ計)

**4,160** 名



総車両保有台数

**2,055** 台



## 販売物流

Sales logistics



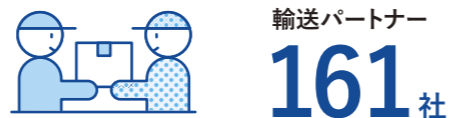
当社は中・小型車両を使った販売配送を得意とし、スーパーやドラッグストアのようなチェーンストア、酒店、個人商店、飲食店など様々な販売店へ商品を配送します。また、冷蔵、冷凍商品といった温度管理が必要な配送も可能です。取引先では納品時での商品の先入れ先出し、納品伝票・帳票などの取扱い、商品代金回収も行っています。



## 大型輸送

Transport

様々な貨物に対応した車両ラインナップで輸送に関するニーズに対応できる体制としています。自社保有の車両に加え、国内161社の輸送協力会社と連携し全国広域エリアをカバーできる輸送体制で、日々1,000台以上の車両を稼働させており、多様化するニーズにも対応できる物流ネットワークの提供も可能です。

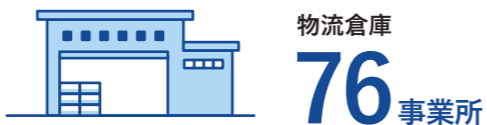


## 倉庫管理

Warehouse management



倉庫管理ではお取引先様の倉庫での製品保管、荷役、管理に関する業務を行います。清涼飲料の倉庫では1,000品種を超える商品管理を実施しており、季節により大きく変化する品種や在庫量に応じてレイアウトの見直しを常に行い、出荷能力をいかに高めるかということ念頭に、製品配置や構内での動線の最適化を図っています。

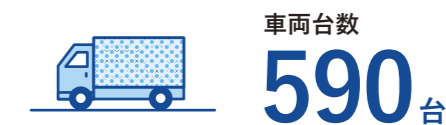


## ベンディング

Vending



全国1府13県においてコカ・コーラ ボトラーの5万台を超える自動販売機のオペレーションを担っており、国内最大規模のオペレーターであると認識しています。商品の自動販売機への補充、売上金の管理、自動販売機内商品の品質管理、自動販売機のメンテナンス等、自動販売機に関する業務全般を行っています。



## 営業事務

Sales administration



営業事務とはお取引先様から預かる商品の管理と販売に関わる業務全般のことをいいます。製品の出入荷状況、それに付随する備品や資産の管理から、販売に関わる伝票や帳票類の作成、売上や各種データのパソコン入力、各種請求支払いなどの業務を行います。



## 機材サービス

Equipment Service



機材サービス事業は「設置」「整備」「修理」「QC」(クオリティコントロール)「イベントリー」の5つの事業で構成されます。お取引先様の方針に基づきオゾン層破壊の防止、地球温暖化対策を通して環境にやさしい販売機器の整備・点検・修理を国内38都道府県にて行っています。

## 販売支援

Sales support



店頭でのマーチャンダイジング活動により商品の売り上げ促進を図ります。店舗の大きさや売り場の環境、来店されるお客様の状況を考慮し効果的に商品を陳列します。POPなどの販促資材の有効的な活用や、お客様の動線を意識した催事場の設営などにより、客数と客単価アップを実現する売り場づくりを目指します。また、受注業務・販促活動のサポート・商品の品質チェックなど、一連の商流活動を一括してお取引先様のニーズに合わせて対応することも可能です。



# *thinkrun HD*

▶ アンケートのお願い

今後のサステナビリティへの取り組みや、レポート制作の参考にさせていただくため、アンケートを実施しています。皆様のご感想やご意見などをお聞かせください。下記のURLまたはQRコードよりアクセスしてください。

<https://forms.office.com/r/xHyUE5bgUh>

